

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年10月5日

独立行政法人水資源機構

筑後川下流総合管理所長 北村 達也

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、筑後川下流用水管理所が予定している工事の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

(1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。

(2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。

(3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

(1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出して下さい。なお、参考見積書の様式は「別紙－2 参考見積記入様式」を参考にしてください。

(2) 提出期間：令和8年10月20日(火)まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(3) 提出先

独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所 筑後川下流総合管理所長 宛
なお、送付先は以下のとおりとする。

〒830-0071 福岡県久留米市安武町武島1063-2

【担当】筑後川下流総合管理所 工務課 大内

E-mail: jwa_chikugo_karyu@water.go.jp

TEL 0942-26-4551 FAX 0942-26-1525

(4) 提出方法

書面は持参、郵送、FAX またはメール（いずれも社印があること）により提出するものとします。

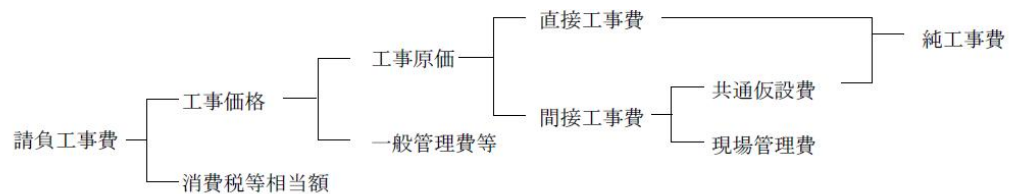
なお、参考見積書の件名は「大詫間幹線水路農地防災対策工事（仮称）」としてください。

(5) 工事費の構成と歩掛見積募集範囲

① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（土木工事編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、下記「4. 参考見積内容」を実施する為に必要な技術者の人数を募集します。

(参考) 積算体系



(6) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和8年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

4. 参考見積内容

(1) 基本事項

歩掛参考見積りは、入札目的のものだけではなく、「別紙－1 参考見積仕様書」に示す作業を実施する標準的な歩掛とします。

(2) 目的

「大詫間幹線水路農地防災対策工事（仮称）」を行うために必要な歩掛を募集するものです。

(3) 見積内容

① 見積内容の詳細については、別紙－1のとおりとします。

② 見積もりする員数は、単位数量当たりとします。

③ 見積項目は、別紙－1に示す「作業項目、作業内容」毎に作成するものとします。

(4) 見積有効期限

令和9年（2027年）3月末日とします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和8年10月13日(火)まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(2) 提出場所：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：質問書提出期限の翌々日（営業日）から見積書提出期限終了まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

参考見積仕様書

第1章 適用

本参考見積仕様書は、独立行政法人水資源機構が管理する大詫間幹線水路のうち、第2章の工事内容に示すクリークの法面整備工事(以下「本工事」という。)に適用します。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、筑後川下流用水総合対策事業に基づき、大詫間幹線水路のクリーク法面整備を実施するものです。

2. 工事場所

佐賀県神埼市地内

3. 工事概要

施工延長	L = 3 9 6 . 0 m
施工始点	No. 7 8 + 8 9 . 0 0
施工終点	No. 8 2 + 8 5 . 0 0
内 訳	ブロックマット工 A = 5 , 8 2 8 . 8 m ²
	附帯工 1 式

第3章 見積事項の仕様

第1節 法覆護岸工

1-1 多自然護岸工

1) ブロックマット設置 (マット長8.4mの設置に係る歩掛)

- ① ブロックマットの敷設に当たってのブロック間の隙間は、原則として設けないものとするが、やむを得ない場合は異形のマットを用いるか、あるいは定型のマットを現場で切断して用いるものとします。

これにより生じるブロック間の隙間については、必要に応じコンクリート打設等を行うものとします。

- ② ブロックマットの重ね合わせ部は水路の上流側のシートを上にし、シート重ね代を10cm以上確保するものとします。
- ③ ブロックマットと既設護岸工との取付に際しては、吸出防止シートを20cm以上根入れし、ブロックマット下に40cm以上敷き込むものとする。
- ④ アンカーピンは、法面部で0.5本/m²、水平部で0.3本/m²以上設置しなければなりません。

2) 張りコンクリート工 (溶接金網設置に係る歩掛)

張りコンクリート工の施工に当たっては、溶接金網 (φ6mm、#150mm、重ね150mm) が断面の中心になるよう配置し、コンクリートを打設しなければならない。また、仕上げは小手仕上げとします。

第2節 濁水処理対策

2-1 発動発電機運転

発動発電機を運転して利用する、濁水処理に必要な中和処理施設の規模は原水処理容量で以下の通とおり計画しています。

区間	原水処理容量	備考
No. 7 8 + 8 9 . 0 ~ No. 8 2 + 8 5 . 0	6 m ³ /h程度	2インチポンプ, 常時排水

第3節 立ち入り防止柵撤去工

3-1 金網・支柱撤去（立ち入り防止柵）鋼管基礎型

ネットフェンスは、既設ネットフェンスを損傷しないよう取り外し、既設位置での復旧に再利用することを想定しています。なお、支柱基礎部は土中にあります。

3-2 金網・支柱撤去（立ち入り防止柵）基礎ブロック型

ネットフェンスは、既設ネットフェンスを損傷しないよう取り外し、既設位置での復旧に再利用することを想定しています。なお、支柱基礎部は土中にあります。

以上

見積参考図面

標準断面図 (1/2)

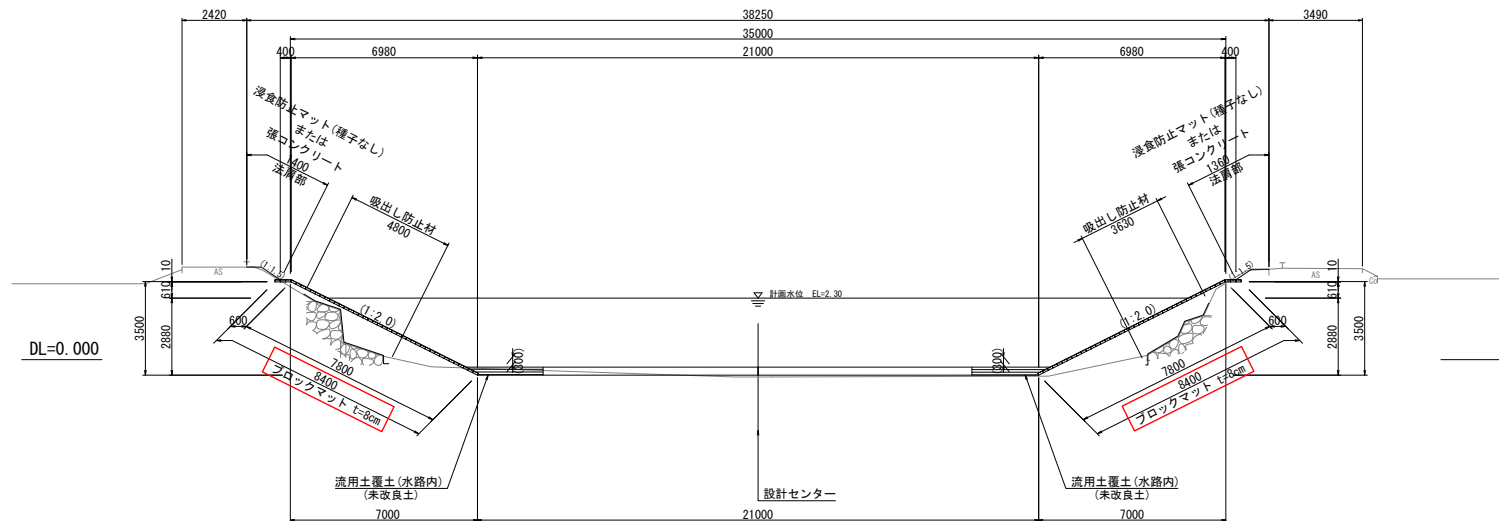
S=1:100

注 意 事 項

- 適用
この図面は総合対策大淀間幹線水路
工区防災対策工事に適用する。
- 単位
測点・標高はm単位で示し、
造寸法は特に示さない限り
mm単位で示す。

標準断面図

No. 78+89.00~No. 82+85.00



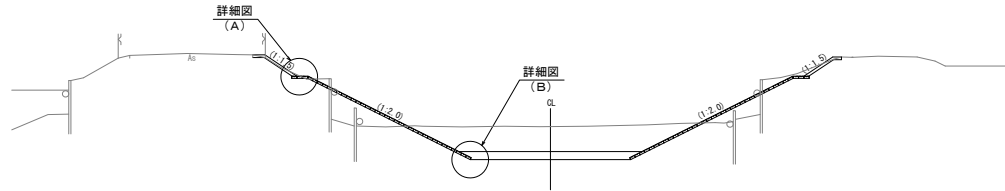
工事名	総合対策大淀間幹線水路 工区防災対策工事		
名 称	標準断面図 (1/2)		S=1:100
登録番号	整理番号	3 - 1/2	
独立行政法人 水資源機構 筑後川下流総合管理所			

法面保護工構造図

S=図示

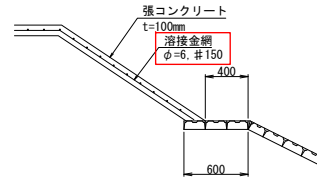
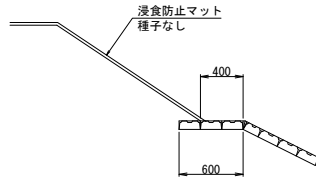
標準断面図

S=1:100



法肩詳細図

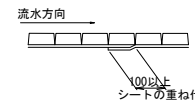
(A) S=1:25



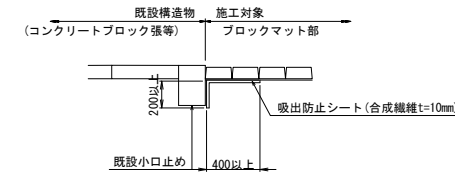
接続部詳細図

S=1:20

シート部

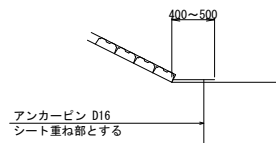


端部処理（構造物部）



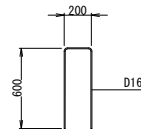
水路底詳細図

(B) S=1:25



アンカーピン詳細図

S=1:20



注 意 事 項

- 適用
この図面は総合対策大淀間幹線水路 工区防災対策工事に適用する。
- 単位
測点・標高はm単位で示し、
寸法は特に示さない限り
mm単位で示す。
- 張コンクリートについて
延長10m毎に目地を設ける。
- 接続部について
シートの重ね代は100mm以上とする。

工事名	総合対策大淀間幹線水路 工区防災対策工事	
名 称	法面保護工構造図	
	S=図示	
登録番号	整理番号	4
独立行政法人 水資源機構 筑後川下流総合管理所		

機能回復・撤去復旧構造図

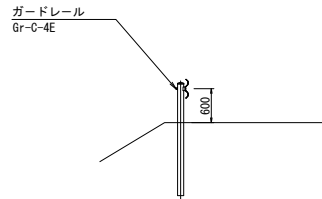
S=図示

注 意 事 項

- 適 用
この図面は〇〇工事に適用する。
- 単 位
測点・標高はm単位で示し、
造寸法は特に示さない限り
mm単位で示す。

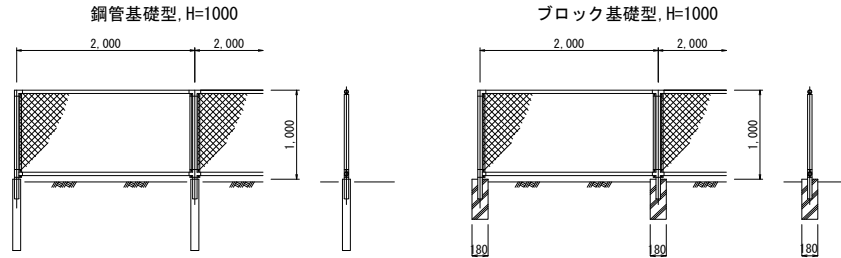
ガードレール撤去復旧（流用）

S=1:50



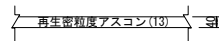
金網・支柱（立入防止柵）撤去復旧（流用）

S=1:30



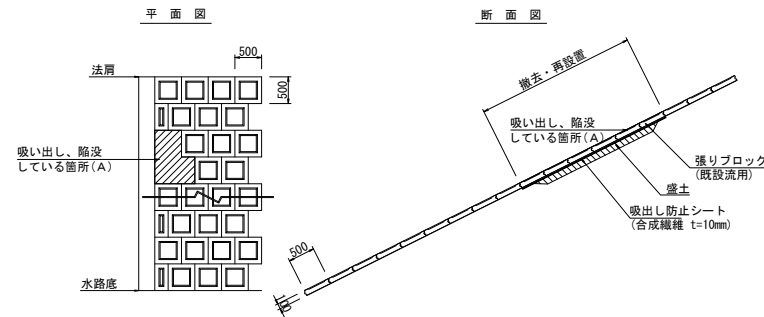
舗装復旧

S=1:10



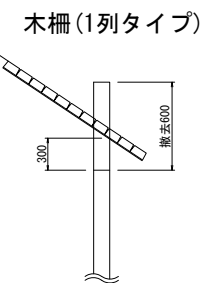
コンクリートブロック張復旧

S=1:50



木柵撤去

S=1:25



木柵（1列タイプ）

工事名		総合対策大院間幹線水路		工区防災対策工事	
名 称		機能回復・撤去復旧構造物			
		S=図示			
登録番号		整理番号		6	
独立行政法人 水資源機構 筑後川下流総合管理所					